



TOKYO 2020

IBC/MPC会場における検温等による 新型コロナウイルス感染防止業務委託

組織委員会 大会運営局 会場運営計画課

2021年5月7日(金)

1. 概要

世界的なコロナウィルスの蔓延に伴い、安全かつ安心に大会を実施、運営するためには、政府方針等も踏まえ、IBC/MPC会場においても万全のコロナ対策を講じて、ステークホルダーの安全の確保と円滑な運営を両立させる必要がある。

当会場では観客が存在しないため、これまでイベントスタッフの業務委託を予定していなかったものの、現下の状況並びに世界へのメディア拠点であるという重要性を鑑み、新たなコロナ対策計画策定を進める必要がある。

最大規模の会場面積を有することやIBCにおいては滞在者の9割程度が外国人であることなどの特性を有する当会場において、安全・安心・円滑な大会運営を行なう必要があるため、大会期間中の感染対策業務について委託するものである。

2. 本委託業務実施対象となる会場 (IBC/MPC)

会場概要

国際放送センター(IBC)並びにメインプレスセンター(MPC)は、日本最大級の国際展示場である東京ビッグサイトに設置される非競技会場

IBCは全競技会場からの競技中継が集まる放送の重要拠点であり、IBC内の各放送権者(ライツホルダー)により全世界へ放送される。



MPCは、記者・フォトグラファーの拠点となるプレスセンターの中核施設であり、同時に記者会見室も設置される。




3. IBC/MPC会場における感染対策（全体像）

【IBCにおけるCOVID-19対策】

各種指針、ガイドラインに基づく基本対策を原則とし、主に以下の対策を実施する。

- (1) 会場入場時(PSA/VSA)における検温チェック(二次検温含む)〔要備品〕
- (2) フィジカルディスタンス確保に向けた対応(マスク着用/手指消毒等の呼びかけ含む)〔要備品〕
- (3) アスリート来訪時の占有動線の確保(2mフィジカルディスタンス確保含む)〔要備品〕
- (4) VOC(会場運営本部)におけるCOVID-19関連施設との連絡調整
- (5) FA別運営計画(FA諸室/FAオペレーション毎の各種対策)
例)記者会見室等における人数制限の実施
- (6) 8項目の基本原則
 - ① フィジカル・ディスタンスの確保(アスリートとは2m、それ以外は最低1m)
 - ② マスクの着用
 - ③ フェイスシールドの着用(目の周り予防、マスク着用不可の場合のみ)
 - ④ 手洗い・手指衛生
 - ⑤ 密閉・密集・密接の回避
 - ⑥ 換気(30分に一度 数分間 または換気設備稼働)
 - ⑦ モノ経由の接触感染回避
 - ⑧ 除菌清掃の基本的対策(高頻度接触箇所の除菌)



本件委託
対象業務項目
(1) - (4)

4. 業務概要

【基本的な感染防止策】

新型コロナウイルス感染症対策の8つの原則のもと、会場入場時における「検温」「手指消毒の徹底」「マスクの着用」を確実なものとするとともに、来場するアスリートの安全を確保するための「占有動線の確立」またメディア・プレス拠点としての各種対策場所との「連絡調整」を円滑にし、安全・安心な会場運営を実施する。

上記を踏まえ
以下のとおり対策を実施

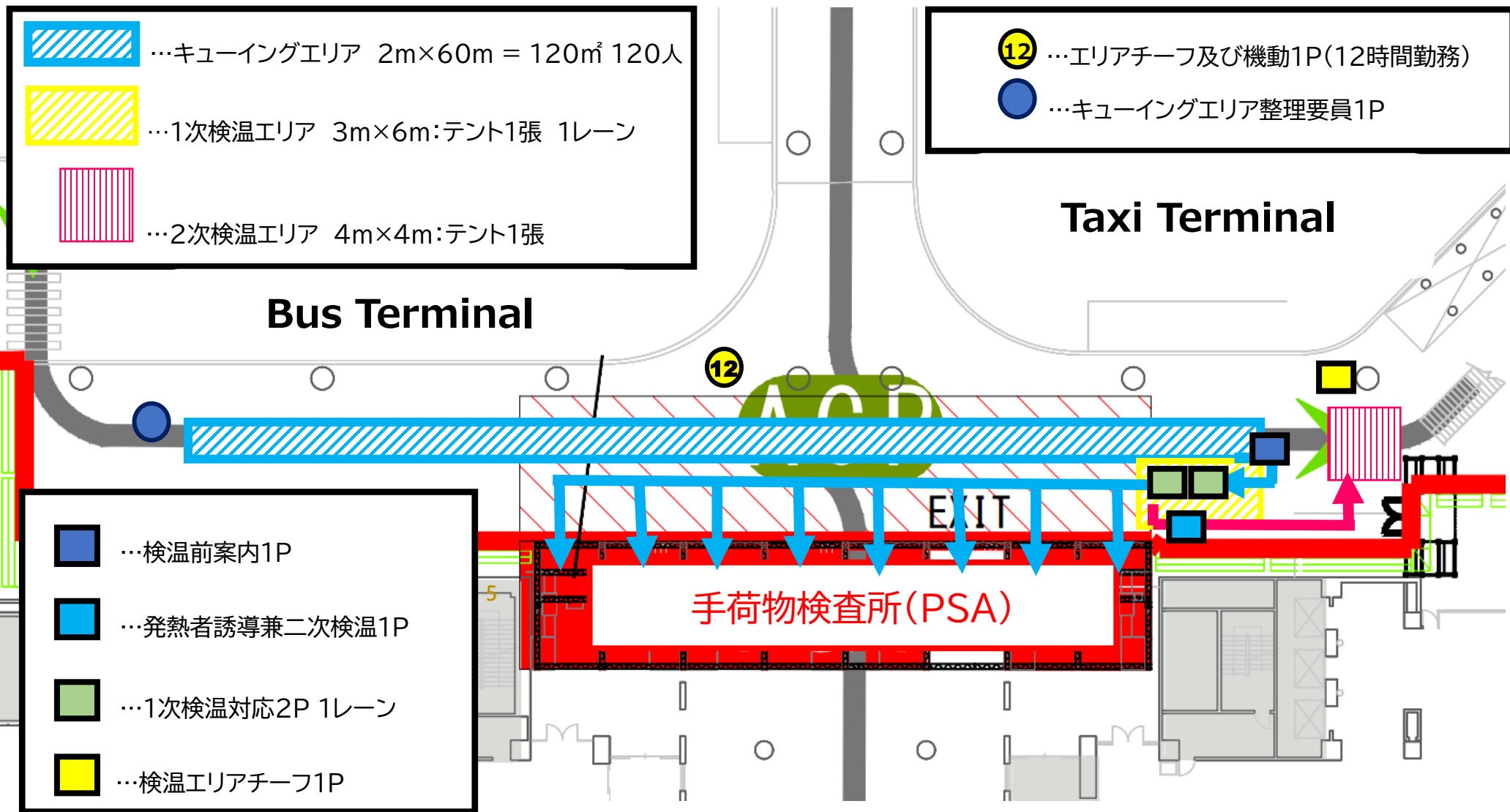
【大会期間中の感染防止対策を以下のとおり実施】

- (1) 検温所の運営(PSA/VSAにおける一次・二次検温チェック)
- (2) フィジカルディスタンス確保に向けた対応（マスク着用、手指消毒等の呼びかけを含む）
- (3) アスリート来訪時の占有動線の確保
- (4) VOCにおける会場内COVID-19関係施設との連絡調整等

5. 業務詳細

— 検温所運営 (動線管理モデル) —

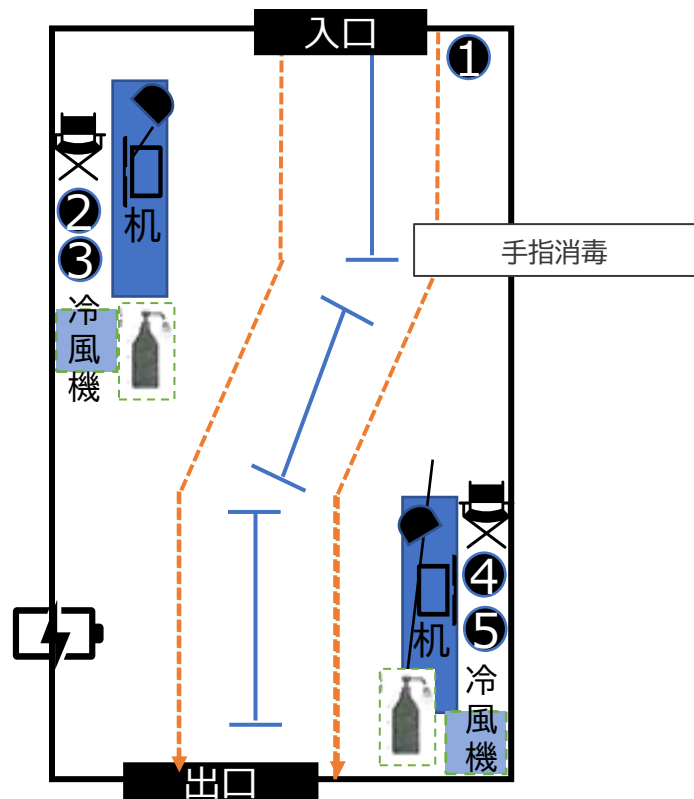
@1F : CENTRAL TERMINAL PSA



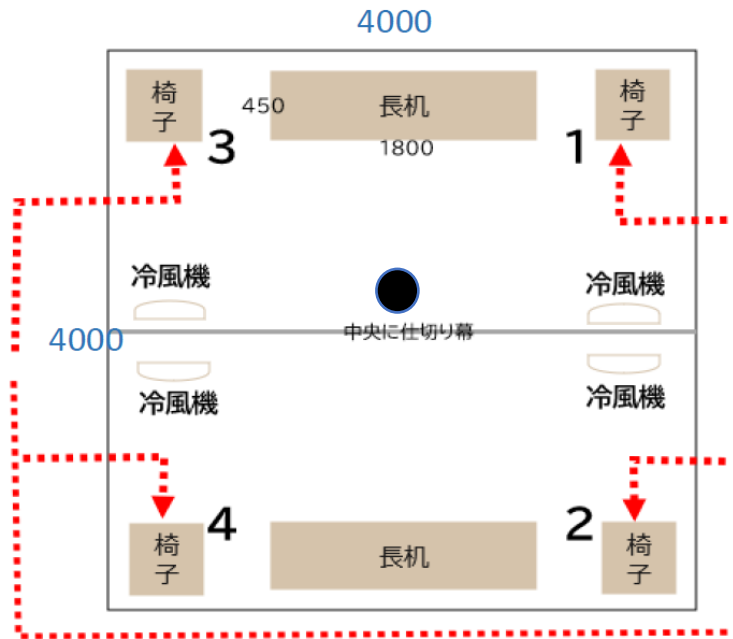
5. 業務詳細

一検温所運営（資機材配置モデル）

<一次検温所 モデル>

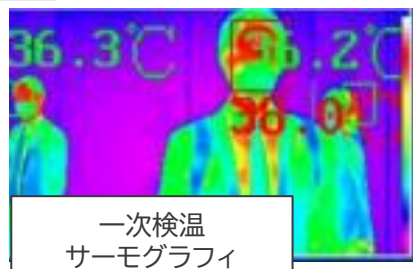


<二次検温所 モデル>



凡例
●・・・対応スタッフ

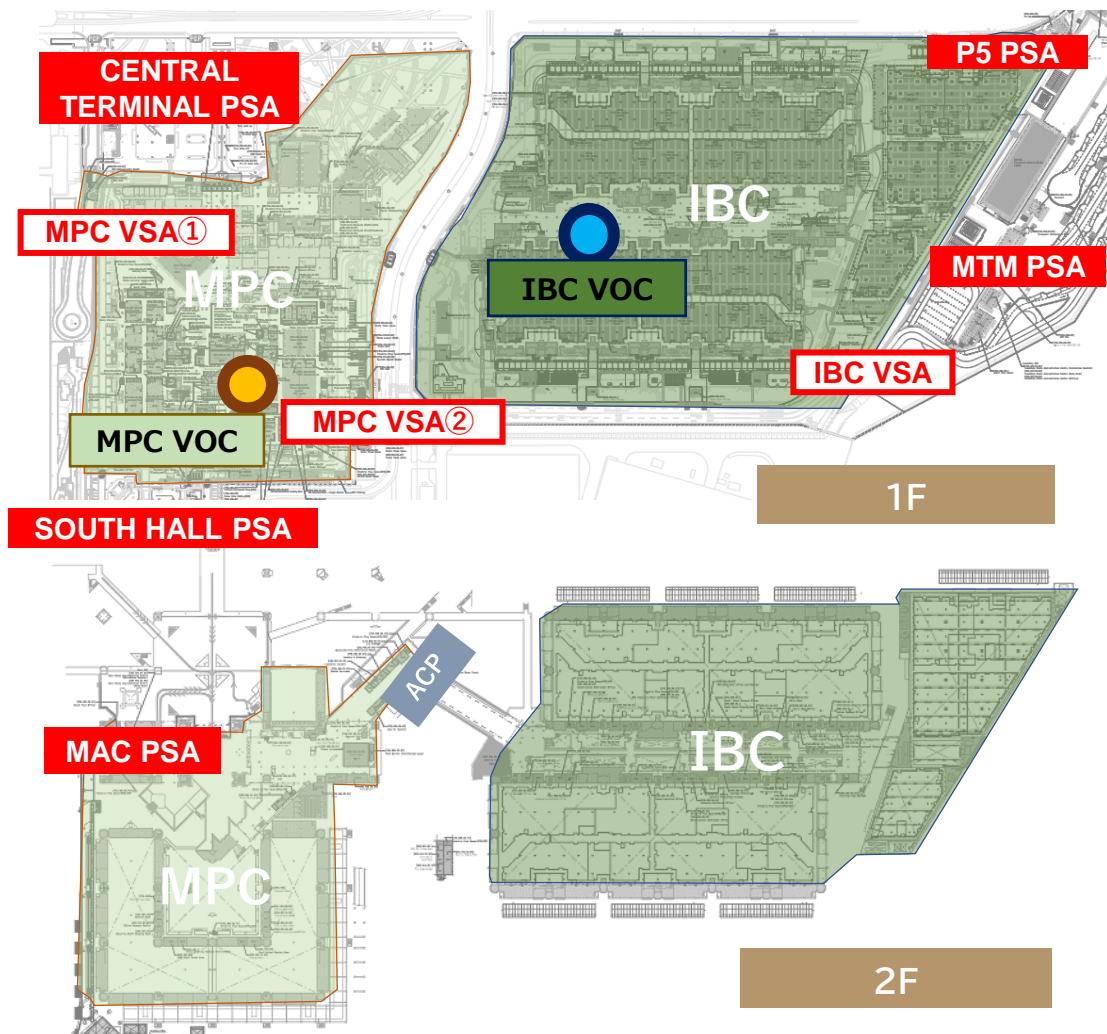
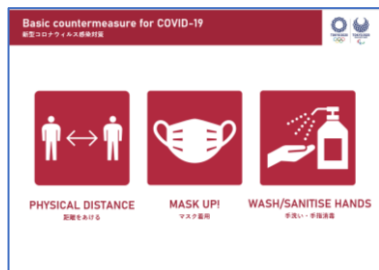
二次検温
非接触体温計



5. 業務詳細ーフィジカルディスタンス確保に向けた呼びかけ対応等ー

PSA/VSA又は付帯するキューイングエリアにおいて、声かけ等による感染予防対策を実施する。

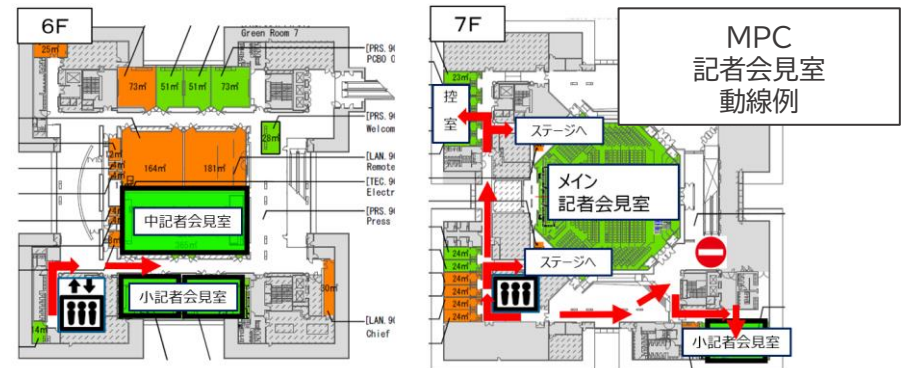
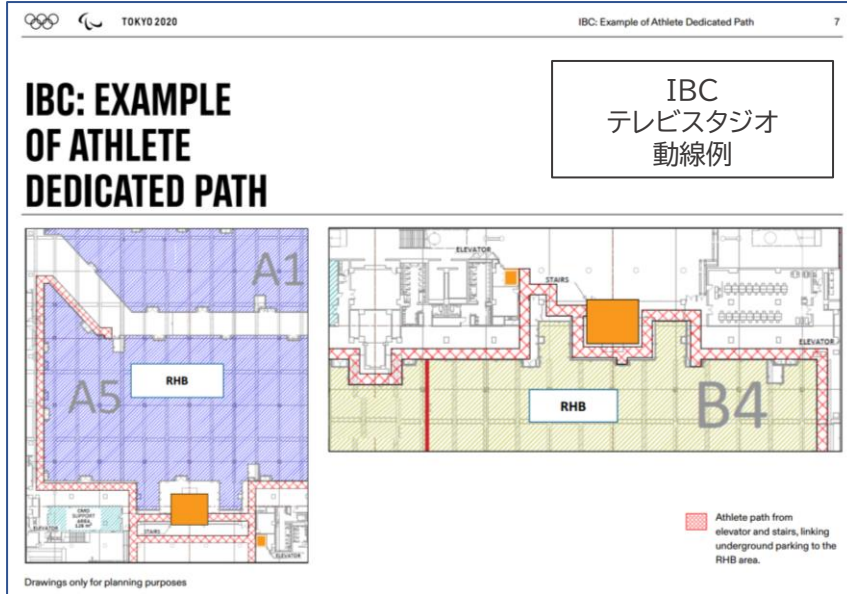
- ・フィジカルディスタンスの確保
- ・マスク着用
- ・手指消毒の徹底



5. 業務詳細 —アスリート来場時の占有動線の確保—

IBC/MPCへのアスリート来場・退場時においては、すべての関係者をアスリートとの距離2mを確保しなくてはならない。このため 会場来場時には、専用の降車場から目的地までの間において、占有された動線を構築し動線を確保したうえで安全な移動を確保しなければならない。競技会場と異なりアスリートの目的地が各国テレビスタジオや記者会見室など多数にわたることから、常時動線を占有することが不可能である。よって来場時において当該動線を配置し動線を一時的に確保する必要がある。

【アスリート来場予定場所】
IBC:各局テレビスタジオ等
MPC:記者会見室等



5. 業務詳細 —VOCにおける関連施設との連絡調整—

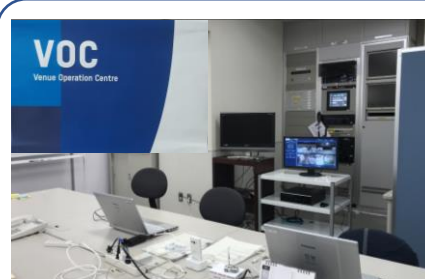
VOC(会場運営本部)においてCOVID-19関連施設との連絡調整を行なう。

- 対応指示、情報の共有・伝達
- 必要となる資料等の收受

VOCを中心に連絡調整を行なう。

スタジオ(OBS)
記者会見室(PCBO)

検体採取・保管場所



VOC
(会場運営本部)

各検温所/キューイン
グエリア

感染症対策センター
(IBC/MPCランチ)

6. 契約予定金額について

(1) 契約予定金額

V5予算の範囲内

検温要員(二次検温者)や夜間帯の人員を一部縮減するなどして削減を図った。

(2) 対象期間・時間

IBC 57日間(7月11日~9月5日) 24時間稼働
MPC 56日間(7月12日~9月5日) 24時間稼働